

ご教示願います！ SDGsの取り組み方

Vol.4

2022年現在、新型コロナウイルス感染症拡大に相まったIoTや5Gの普及加速、LED照明に代表される省エネについての提案営業、脱炭素社会の実現（カーボンニュートラル）、太陽光発電、蓄電池などエネルギー分野の発展、建築業界における働き方改革など、私達、電材業界が取り組まなければならない社会的・環境的貢献課題は、まさにSDGsの課題そのものです。

第4回目は、東京単組所属のスズデン株式会社様を訪問し、安岳宗吉代表取締役専務、古郡裕也課長、山田雅司担当課長にお話を伺いました。

しかしながら、「SDGsを取り組みたいが、どのようにして進めていけばよいか分からない」という声を多く頂いた事から、すでにSDGsに取り組まれている会社様へ緊急取材をお願いし、SDGsとは何なのか、取り組み事のメリットなどをお伺いし、組合員会社様のSDGs取り組み会社増へと繋げる記事を連載致します。



SDGsの取り組みは 会社の成長に繋がる

社員に不都合が起きない工夫は当然行いました。

事務局 社員全員で「マイカップ、マイボトル、マイバッグ」の推進を行っているとお伺いしました。こういった経緯で始めたのですか？

安岳専務 SDGsに取り組むにあたり、会社でできる事と個人でできる事の2つに分けて考えました。個人で実践することはSDGsの浸透につながります。個人レベルですぐに実践できることとして、「マイカップ、マイボトル、マイバッグ」をスタートさせました。

SDGsの目標14「海の豊かさを守ろう」によると、ペットボトルは水に溶けず、マイクロプラスチックとして海に害を与え、食物連鎖により人にも影響

を及ぼすとされています。そのような中、当社では少しでも環境負荷を低減できる取り組みとして、全社でのマイカップ・マイボトルの利用促進をはじめました。

事務局 私も以前、マイボトルを使っていたことがありましたが、飲める物が限られてくるため、途中で飽きて止めた経緯があります。

安岳専務 本社に設置している自動販売機の飲料を、ペットボトルから缶へ変更したり、浄水器を設置したりと、社員に不都合がないような工夫は当然行いました。やるからには、社員全員は納得出来ないかもしれません。できるだけ取り組みやすい工夫と環境整備をプロジェクトで考えながら進めました。

事務局 プロジェクトはどういったメン



バーですか？

古郡課長 各営業所から年齢・性別・部門等、偏らないよう人選しました。

月に1・2回集まって、何を行うかを検討してきました。

事務局 社内に浸透させるために、どのような方法を取られましたか？

古郡課長 「SDGs通信」を定期先を作成してメールで全社員へ配信していました。「SDGsとは何か」を簡単かつ分かりやすくまとめ、ESG、CSRと

の繋がりや当社事業との関連性などについて知ってもらい、なぜ、マイボトルを使うのかという説明もしました。

また、各部署のSDGsリーダーにマイボトル・マイバッグを持った画像を撮影してもらい、ポスターにして社内に掲示する事で認知と浸透を深めました。

事務局 ちなみに、「マイボトルに飽きた」といったような声はないですか？

安岳専務 特に聞いた事はありません。始めて2年が経ち、マイボトル生活が

浸透し、慣れたのではないのでしょうか。ポスターやSDGs通信で理解を得られたと思います。

「健康企業宣言」は

取り組みやすいSDGs

事務局 「健康企業宣言」をしていると伺いました。こういった活動ですか？

山田課長 元々、当社の鈴木敏雄会長が東京都電機健康保険組合の理事長を務めていた事がきっかけで、2017年に総務と衛生委員会を取り組む内容について検討を始めました。

認定を受けるための項目を調べ、どれが当社としてクリア出来ているのかピックアップし、クリア出来ない項目は約1年かけて、1つ1つクリアしていき、2018年7月に「健康優良企業 銀

の認定」を取得しました。

事務局 定期健診の受診率100%については、中には忙しくて受けられない方もいると思うのですが。

安岳専務 法律で定められているものではあります。確かに業務の都合で計画通りに受けられない方もおります。

総務の方からも受けていない社員に対して、「いつ行きますか？」と連絡するようになっています。

事務局 なるほど、総務の方のまめな連絡が達成の秘訣ですね。

山田課長 健康づくりのための環境整備としては、自動販売機内の各飲料水のカロリー数値を記載し、過剰摂取を注意したり、血圧計を設置し測定習慣を促すポスターを掲示したりしています。

事務局 禁煙への取り組みとはどのようなものですか？

安岳専務 タバコを吸う本人の健康リスクもありますが、受動喫煙などによる一緒に働いている同僚への健康リスクも重要な観点であり、当社では「健康企業宣言」前から各拠点や社用車での喫煙を禁止し、就業時間内は全面禁煙としております。

事務局 なるほど。就業時間内だけの禁煙であれば、取り組みやすそうですし、この健康企業宣言は少人数の会社程達成しやすいと感じました。

山田課長 ぜひ、オススメです。健康診断や禁煙はどの会社でも取り組まれ

健康優良企業

当社は、健康保険組合連合会東京連合会に「健康企業宣言」を行い、平成30年7月4日付で健康優良企業として「銀の認定」を取得いたしました。
健康企業宣言とは、健康優良企業を目指す企業が健康づくり等に取り組むことを宣言し、一定の成果を上げた場合に、「健康優良企業」として認定される制度です。

当社の「銀の認定」におきましては、かねてより実施してまいりました下記の取り組みをご評価いただきました。

1. 定期健診の受診率100%
2. 健康診断結果の活用および再受診推奨の拡大
3. 衛生委員会による健康づくりのための環境整備
4. 健康づくりに関するポスターの掲示
5. 禁煙への取り組み



ている内容ですし、衛生管理者を設置しなればならない会社は月に1回、環境整備のための活動が義務付けられています。SDGsと平行する活動

ですから、ハードルは決して高くはないと思います。

健康保険組合のHPから「健康企業宣言」を登録し、取り組みを行い、申込

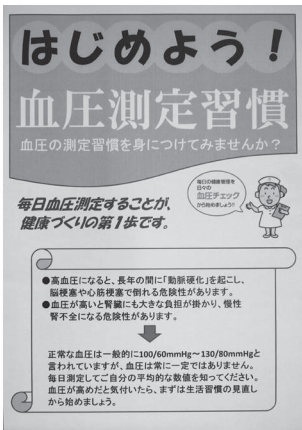
をするといふ流れです。

社員全員で協力し、上手く

回るように工夫して進めている

事務局 産休・育休からの復帰は

100%と伺いました。何か秘訣があるのですか？



ちょっと調べて!!!	
その飲み物 カロリーは大丈夫？	
缶コーヒー(加糖)	約50~80kcal
缶コーヒー(微糖)	約20~30kcal
スポーツドリンク	約100~150kcal
エナジードリンク	約40~70kcal
お水・お茶	0kcal
過度なカロリー摂取は メタボリックシンドロームのリスクを高めます	

安岳専務 女性社員でプロジェクトを組み、どうしたら復帰しやすいかの意見を集めました。

育休中は随時会社情報を連絡し、復帰前には、復帰の際の確認事項、必要書類等を連絡し、復帰への準備をサポートしています。

また、復帰への不安や不明点を含め、

何かあったら、何でも総務に連絡するようにと明確にしているので、社員も安心して休めているのかなと感じています。

事務局 育休を終え、明日から会社に戻るとなると、何の情報もなければ、不安が大きいです。先に情報があれば、心と頭の準備が出来るので、早く復帰しやすいと思います。

ちなみに男性の育休についてはどうですか？

安岳専務 先日1人、1ヶ月間育休を取得した男性社員がおります。私自身も、子どもが出来た時は、1ヶ月間時短勤務をさせて頂きました。

人数が多い部署であれば、業務を分担し、サポートしあうことも出来ます。から、育休は取得しやすいですが、人数が少ない部署だと難しく、課題でもあります。

事務局 有給休暇取得の状況はどうですか。

安岳専務 夏季・冬季休暇などにあわせて、全社員が連続2日以上取得できるように推進しております。また、期の初めに年5日以上取得するために部署毎で計画し、それに合わせて業務を進め

スズデン(株)様から伺った SDGsに取り組むポイント

- 1、SDGsに取り組むならば、社員全員が参加できる活動が重要で、その為には様々な工夫とサポートが必要。
- 2、産休・育休からの復帰100%の秘訣は、まめな連絡と支えてくれる部署の存在。健康診断受診率100%も、社員へのまめなフォローが大切。
- 3、社員全員で協力して、業務が上手く回るように工夫して進める。(職場仲間への思いやり精神)

ています。しっかりと計画を立て事前準備することにより、業務が止まることもなく、結果として休みが取りやすい環境になっていると考えております。

社員全員で協力し、上手く回るように工夫して進めているのが現状です。

事務局 ありがとうございます。最後に伺いたのですが、SDGsの取り組みと会社の業績は繋がると思われますか？

安岳専務 結果的には結びつくと思えます。

業務の効率化が出来ますし、社員全員が健康でない仕事は出来ません。また、教育として社員のスキルアップにも繋がります。そういう観点から会社の成長にも繋がっていくと思います。

当社では制御機器や電設資材等の販売を行っていますが、環境に配慮した省エネ製品などSDGsの観点からも提案が出来るので、結果的にはSDGsと繋がっていると感じます。

編集部 ISOの時と同じように企業選びの基準にもなってくると言われています。

ますが。

安岳専務 勿論、それもあると思いますが。ESGの投資も関係してきます。お客様によっては、グリーン調達という観点で商品を購入するケースも増えてきており、遠からず、業績と繋がってくると思います。

SDGsは自分達が出来る事から始め、企業の社会的責任の1つと捉えて活動をしています。



※掲載順は、2021年6月に「会社名+SDGs」と組合員全社をグループ検索し、SDGsの取り組みを確認出来た会社様へ取材願いの連絡を行い、取材許可を頂いた先着順で掲載させて頂いております。

SDGsに取り組み、取材許可を頂ける会社様がありましたら、全社合わせて頂きます。令和4年8月末までに全日電材連・事務局・伊達までご連絡下さい。

(03-35541-7192)